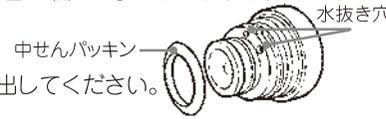


# お手入れの方法

ご使用後はいつもでも清潔にご使用いただくために必ずお手入れしてください。

- **本体(外装)** ①湯で薄めた台所用洗剤をやわらかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る。  
②やわらかい布でからぶきする。  
③本体の丸洗いは絶対しない。
- **中びん** ①湯で薄めた台所用洗剤を柄のついたスポンジブラシに含ませ、静かに洗う。  
②湯を入れ、軽く振ってすすぎ洗いを2~3回し、洗剤を洗い流す。
- **中せん** ①水またはぬるま湯をやわらかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る。  
②やわらかい布でからぶきする。  
③中せんの丸洗いは絶対しない。  
※中せん内に溜まった水は右図水抜き穴より排出してください。



# 修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合にもあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■湯がもれた	飲み物を入れすぎていませんか。	飲み物は規定の量までにしてください。
	中せんがきっちりしていませんか。	きっちりしめなおしてください。
	食器洗い乾燥機や食器乾燥機などを使ったり、煮沸していませんか。	
	落としたり、はげしい振動を加えていませんか。	
■本体内部が変色した	汚れないですか。	クエン酸をお使いください。
	斑点状の赤いサビではないですか。	水に含まれる鉄分などが付着したものです。定水量の熱湯にクエン酸を約10%加え、約3時間後によく洗ってください。(→P5参照)
	ザラザラしたものではないですか。	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。定水量の熱湯にクエン酸を約10%加え、約3時間後によく洗ってください。(→P5参照)
■保温(保冷)が効かない	熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか。	熱い(冷たい)飲み物を入れてください。また、あらかじめ本体内側を予熱(予冷)しておくとう効果的です。
	飲み物の量が少なくないですか。	内容物が少ないと、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。飲み物の量を多くすると効果的です。
	中せんがきっちりしていませんか。	きっちりしめなおしてください。
	びんが破損していませんか。熱湯をほぼ満量入れ、20分~30分後本体胴部を手でさわってみてください。	もし本体が温かいようであれば、お買い上げの販売店に中びん修理をご依頼ください。
■異臭がする	本体内部や中せんに汚れが付着したり、飲料物を長時間入れたままにいませんか。	ご使用後はきれいに洗い、十分乾燥させてください。異臭がとれない場合はクエン酸をお使いください。
■プラスチック部分に線状や波状のように見える箇所がある	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	

※中せん・パッキン類は消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

# 赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側内に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 定水量の熱湯にクエン酸を約10%加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

- ご使用前、およびお茶や糖分を含んだものなど、湯(水)以外のものを入れてご使用になった場合には、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

# アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関するお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

# 消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ① **ホームページ** …… トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。)
- ② **販売店** …… ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ **お客様相談窓口** …… お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
AHG型 中せんセット(中せん、中せんパッキン、バルブパッキン)

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

**お客様相談窓口**  **0570-094891**  
市内通話料金でご利用いただけます。

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00  
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- 携帯電話・PHSの方はこちらへ 06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589  
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



**ピーコック魔法瓶工業株式会社**

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

# Peacock

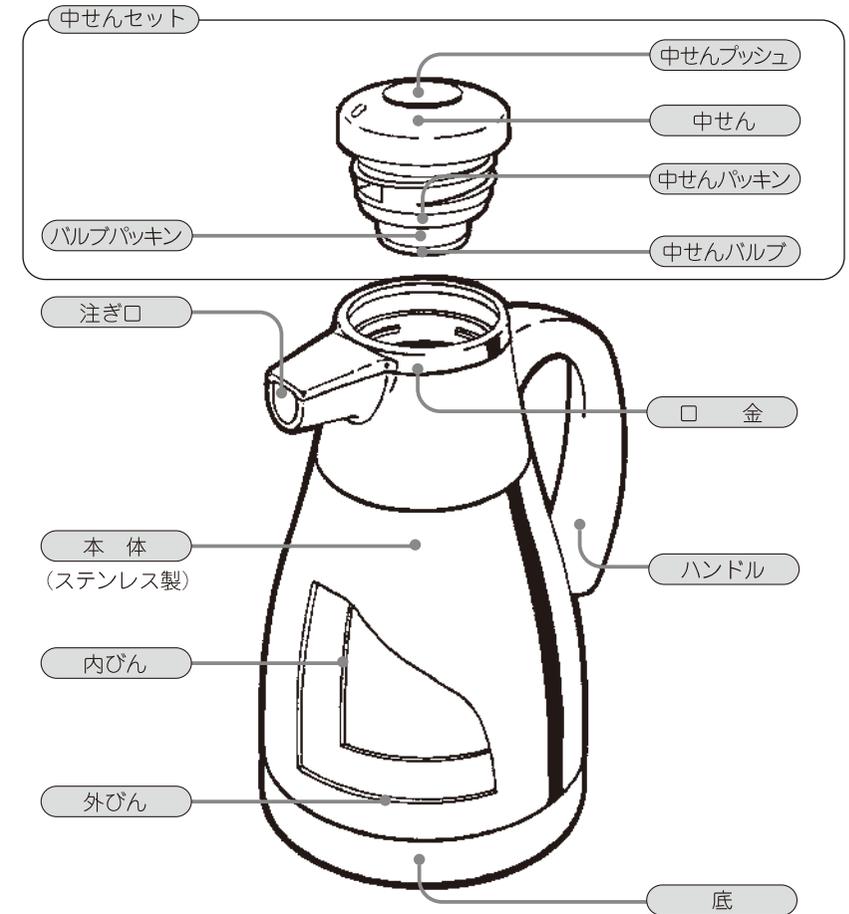
ステンレス製まほうびん  
(グレースポット)

AHG

# 取扱説明書

このたびは、ピーコックステンレス製まほうびんをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

# 各部のなまえ



説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。④

# ご使用方法

ご使用前に内びん、中せん、口金は十分お手入れしてください。

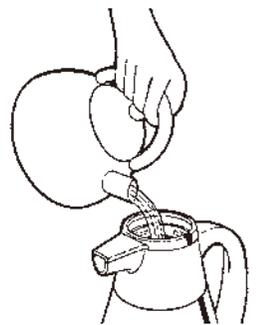
## 1 中せんをはずす

①中せんを矢印の方向にまわしてはずす。



## 2 湯(冷水)を入れる

①直接、内びん内に湯(冷水)が落ちるように入れる。  
※熱いやかんを口金に触れさせないでください。  
※湯(冷水)の量は、湯口より約2cm少なめにしてください。  
入れすぎると注ぎ口から吹き出ることがあります。  
※保温(保冷)する場合は、あらかじめ少量の湯(冷水)を入れて1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。



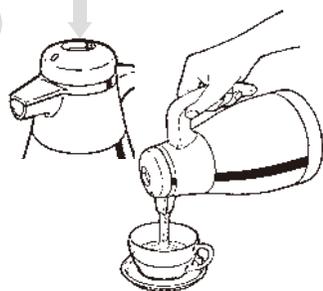
## 3 中せんをしめる

①中せんは最後までゆっくり確実にしめる。



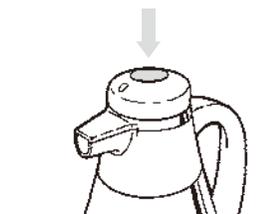
## 4 湯(冷水)を注ぐ

①中せんプッシュをカチッと音がするまで押して、傾け注ぐ。  
※湯(水)がいっぱい入っている場合は、少し傾けただけで湯(水)が出ますので、急須などを注ぎ口に近づけてください。  
※注ぎ口が斜めの状態で注がれますと、口金から胴部へと水滴が伝い落ち、テーブル等を汚すことがありますのでご注意ください。  
※中せんプッシュが堅くて押せないときは、一度中せんをゆるめて、中せんプッシュを押してそのまましめなおしてください。



## 5 注ぎ終わったら

①注ぎ終わったら、中せんプッシュをカチッと音がするまで押して、中せんバルブをしめる。  
(元にもどしてください)  
※注湯後は必ず中せんバルブをしめてください。そのままですと、万一ポットが倒れた場合にお湯が出たり、保温(保冷)効果が下がります。



# 必ずお守りください もれやあふれはやけどや他の物を汚す原因となります。

## 飲料物の保温・保冷以外に使用しない

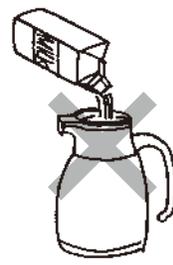
乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。

やけど・けがなど危険。



次の物は絶対に入れない。

- ドライアイス・炭酸飲料など  
本体内の圧力が上がり、中せんがあかなかったり、湯(水)が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの  
サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。
- 牛乳・乳飲料・果汁など  
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、湯(水)が吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- 果肉・お茶の葉など  
もれなど故障の原因。



持ち運びは、ハンドルを持つ。

傾けたり横抱きしない。やけど・汚れの原因。



自動車に乗せて使用しない。

やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。



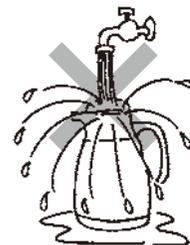
こんな場所には置かない。

ストーブやコンロなど、火のそばや直射日光のあたる場所では使用しない。変形・変色の原因。



本体の丸洗いはしない。

水が侵入し、サビや他のものを汚す原因。



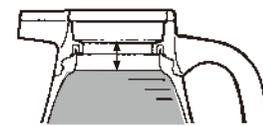
倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃や振動(特に上下の振動)を与えない。

びん破損の原因。お湯が出てやけどのおそれ。



湯(水)の量は、湯口より約2cm下にする。

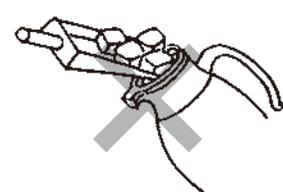
湯口から約2cm下



- 中せんは確実にしめて使用する。
- 内容物を入れたときは、横転させない。内容物がもれることがあり危険。
- 傾けた状態や顔の近くで中せんをあけない。飲み物や水蒸気が勢いよく出て、やけどなどのおそれ。
- 中せんの丸洗いはしない。
- 本体・中せんの煮沸および食器洗い乾燥機や食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 熱い飲み物を入れて使用するときは、本体を急に傾けずゆっくりと注ぐ。
- 急熱・急冷などの強いショックを与えない。びん破損の原因。
- プラスチック袋(製品袋)を頭から被ったり、顔を覆ったりしない。窒息するおそれ。
- 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。

## ご注意とお願い

- 漂白剤・シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 熱いやかんを口金に触れさせない。傷・変形の原因。
- 大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。傷・サビ・変形など故障の原因。



- 内容物を長時間保存すると腐敗するおそれ。また生もの・乳飲料など変質・腐敗しやすいものの保温はやめる。
- 熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあるため、びんの中にはお湯を入れ、お茶のときは急須を使用する。
- 使用後は必ず中せんをきれいに洗う。